

グループ紹介

佐伯町ボランティア連絡協議会



※提出いただいた団体のみ掲載しています。

グループ 紹介!!



食事 グループ

私たち食事グループの会員は現在四十四名で活動しております。

主な活動は年間十回の給食サービスの弁当づくりです。真夏の七、八月は食中毒対策のためお休みしますが、毎回約一六〇食分程の弁当を皆で楽しくつくっています。

それから、男性料理教室の援助活動も毎月しておりますが、三名ずつ当番制でお手伝いしております。他にも七月には保育所夏祭り、八月の特養ひまわり園の夏まつりには弁当づくり、屋台の手伝いと年間食事づくりの活動を実施しております。これからも高齢者や障害者の方々に喜んで召し上がっていただけるような弁当作りを目指して、会員一同頑張ります。



介護 グループ

現在会員数は二十八名です。町の各事業への介助、支援活動を少ない人数ではありますが、連携をとって大きな輪にして頑張っています。毎週金曜日には、ひまわり園とケアサポート「幸生」でのデイサービス事業の支援をしています。毎月第二水曜日には「こぶしの会」、第一金曜日には「あゆみの会」で、当番制で介助援助活動にあたっております。

配達 グループ

声掛け、安全確認、雑事の手伝い等を心掛けながら、笑顔で給食サービスの配食をしております。

グループ会員は、各地区に約一名〜三名おり、全員で二十八名います。年度変わりの時期には希望調査を致します。昨年は、月一六〇食程度を年十回希望者にお届けしました。私は、「一隅を照らす」と、思い始めたこのボランティアも今年で十年になります。人

間として、地域愛、助け合いを月に一度位はさせて戴かなくてはと、切に思うこの頃です。
「ありがとう」この言葉が私たち配達グループの後押しになっていきます。



その他、ボランティア養成講座、介護に関する学習会などに参加することで、より充実した支援活動ができるよう常に努力しています。
地域でボランティア活動に関わることによって、誰もが心豊かに、一日でも長く元気で過ごすことができることを望んでいます。



芸能グループ



芸能グループは、総人数二十六名で、町内外で活動しています。別名「ひばり会」という名前を持っています。ふれあい会、敬老会等、集うところがあれば、喜んで行かせてもらっています。みな

さん気軽に声をかけてください。年間を通して、十二回程の活動になります。毎月、第四土曜日が定例会です。その時、活動についての話し合いをしたり、だしもの練習をしております。それぞれ多種多様な芸達者が揃っていて、芸に磨きをかけるのですから熱気に満ち溢れております。今後は、なお精進して、レバートリーを増やせる工夫や内容を充実させることに努めていきます。こんなことができるとか、特技のある方、ぜひグループに加わっていただけませんか。モノマネ、漫才、楽器の演奏、芝居のシナリオ、何でも大歓迎です。気軽に福祉協議会にご一報ください。



送迎グループ



基本的には、高齢者や障害者が行事に参加する時の送迎をしております。

具体的には、重度障害者（こぶしの会）の送迎が年十二回。また、町・社協・公民館等が主催する行事に参加するため、高齢者の送迎をしております。その他、保育所の夏祭、ひまわり園の夏祭、文化祭、ふれあい祭等の送迎です。個人的にも病院への送迎をすることもあります。現在グループの登録は七名ですが、先般のアンケート調査の結果を見ますと、送迎グ

ループに対する要望が非常に多く、今後ますます需要が高まると考えられます。このグループに入って送迎をしてみたい気持ちをお持ちの方が沢山おられました。どうか一人でも多くの方のご参加をお願い致します。

サンキユウ会



わたしたちは、平成十二、十三年度に佐伯町で実施されたホームヘルパー養成研修を

修了したもので、結成したグループです。何十年ぶりに手にした、分厚いテキストと講義内容の難しさ、進め方の早さに驚き、戸惑いながら十日間の研修を終えた時、すばらしい仲間づくりができていました。だれともなしに、この仲間をこれからも続けてゆきたい！との声が上がリ、話し合いで「三級と感謝」の気持ちから「佐伯サンキユウ会」と名付けました。平成十三年度に発足した当初は第一期生十八名でしたが平成十四年度から第二期生も加わり、町ボランティア協議会にも加入させていただき活動しております。

年会費制で隔月（偶数月）の定例会（研修会）と毎月一回「こぶしの会」と「あゆみの会」へ行かせてもらっています。その都度、いろいろ勉強させていただくことに感謝！感謝！の気持ちです。また、アンケートでは、わたしたちのサンキユウ会をよく知っておられるとご回答くださった方がたくさんおられ、その中でも、この会で活動ご希望の方も多数おられると知り、大変有難く思っています。どうぞ、あなたのお力をこの会へ！お待ちしております。

花の会



せていい。花選びは任せて」と言えることと、作業の後おしゃべりの花を咲かせるひとときです。

花が好きという条件だけで集まった会員です。会員数は現在十三名。仕事を持っていない人が多いので、作業日を土曜日にしていきます。

花の会では、花を咲かせることと、人材育成を二本柱に掲げています。地区の花壇の世話もしてほしいという要望もあるのですが、その前にボランティア意識を育てる方が先決と思っています。この会で育った人が、やがて地区リーダーとなり佐伯町で花巡りツアーができるほどの花を咲かせてくれるでしょう。

毎月月初めの土曜日、朝の八時にサエスタの花壇に集合して花の手入れをしています。ひたすら、黙々「自主的に」が合い言葉。
人の寄るところに花が添えてあればどんなに人の心を慰め励ますことができるかを信じているから夢中になれるのです。楽しみは、「今年はこのイメージの花壇にしようよ。カラーコーディネートを考えて」「私の好きな花も混

レク 和話環

「レク和話環」は、レクリエーション活動を中心に「地域に役に立つ高齢者になろう」ということを目標に集まったグループです。
昨年からは毎月、第三火曜日

午後一時から老人福祉センターで「レク和話環ふれあい広場」として活動しています。囲碁、将棋、音楽、カラオケ、ビリヤードなどそれぞれのリーダーさんのお世話で楽しい会になっています。

保育園への友愛訪問では、年二回の「日曜広場」を企画、運営しています。小・中学生のボランティアといっしょに歌ったりおどったり、ピアノやエレクティオン演奏を組み合わせたリ、綿菓子づくりやチャレンジしました。

現在会員は三十五名で活動しています。年齢に関係なく、多くの人の参加とふれあいをもたれに子どもたちに夢を与える良い環境づくりに励んでいます。



《施設活動》

防災 めぐみ



に対応できるように、自主防災意識を高めようという思いから立ち上げたグループです。昨年は、消防署の見学と体験学習、災害ボランティア、自主防災組織リーダー養成講座、ボランティア協議会主催の防災講習会等に参加し自己研鑽に励みました。

名称は、女組（女性が活動する）と恵み（いづくしむ、大切にする）をあわせた意味をこめてつけています。

今年度は、災害弱者である独居老人のお宅を訪問し、防災についてお知らせしながら、災害の際にできるだけ早く安否確認や救護ができるように女性の特性を生かして見守り活動をしてゆく予定です。

はじめまして「防災めぐみ」です。
「防災めぐみ」は、地域で災害が起きた場合、日頃家に居る時間が比較的多い女性が迅速

●お知らせ
「レク和話環ふれあい広場」
毎月第三火曜日に老人福祉センターで待っています。

とになります。「防災めぐみ」がそのお役に立てられれば幸いです。ぜひ「防災めぐみ」の一員になって大切な地域の人や財産を地域で守ってゆきましょう。

記載団体一覧

NO.	グループ名	備考
1	食事グループ	
2	介護グループ	
3	配達グループ	
4	芸能グループ	
5	送迎グループ	
6	サンキュウ会	
7	花の会	
8	レク和話環	
9	防災めぐみ	